

## 別紙

### BSS-PACK 中核部（ミドルソフト） 営業秘密部プログラム目録

#### プログラム名称とその機能

株式会社ビーエスエスが開発したBSS-PACK製品が共通して使用中核部（ミドルソフト）「営業秘密部プログラム」は次のとおりである。

#### 1 プログラム名称

- (1)SSDBaccs （擬似統合データベース機能）
- (2)SCtsusin （ハードロックチェック機能）
- (3)SCpjkt su （擬似統合データベース機能）
- (4)SCbra （擬似統合データベース機能）
- (5)SCUSRbra （擬似統合データベース機能）
- (6)BP PRINT
- (7)SDaemon
- (8)エンドユーザー情報ファイル （ソフトロック）

#### 2 その機能

##### (1)SSDBaccs （擬似統合データベース機能）

どのDBMSに対応すべきかの指令がまとめられているプログラムである。

これにより、複数種のDBMSへの対応が可能となる。

##### (2)SCtsusin （ハードロックチェック機能）

個々のソフトウェア部品の三相間，ソフトウェア部品とDBMS間，クライアントとサーバー間などの通信時に必要となる各種機能をまとめている。特に，ソフトウェア部品の三相構造が作動するためには必須の機能である。その内容は，必ず使用される初期処理及び環境変数の取得時におけるハードロックキー装着チェック機能が含まれている重要なプログラムである。

(3) S C p j k t s u (擬似統合データベース機能)

B S S - P A C Kは業務分類(販売管理, 仕入管理, 一般会計管理等)ごとにDBをもっている(分散DBサーバー)ことにより, ソフトウェア部品を実行して業務処理を行うにあたりどのDBにデータを書き込むかの振り分け機能のあるプログラムである。同時に分散しているDBサーバーを統合し, 一つのDBサーバーであるかのように機能させるプログラムである。

(4) S C b r a (擬似統合データベース機能)

B S S - P A C Kの業務分類ごとのDBの識別名(ヘッダー)を受信するための機能をするプログラムである。S C P j k t s uと対になって働く。

(5) S C U S R b r a (擬似統合データベース機能)

B S S - P A C K以外に設置された外部DBにアクセスし, これを取り込むための機能をするプログラムである。B S S - P A C Kの作動範囲を拡大するために必要である。

(6) B P P R I N T

個々のソフトウェア部品の帳票印刷を制御するための機能があるプログラムである。(ソースコードを開示したことがある唯一のプログラム)

(7) S D a e m o n

ビーエスエス社が開発したB S S - P A C K用の通信デーモンである。個々のソフトウェア部品の三相間の通信制御を行う機能で, (2) S C t s u s i nと関連してB S S - P A C K中核部(ミドルソフト)の頭脳から発せられ, 関数インターフェース部の働きを制御する神経伝達物質的な役割を果たすものである。間接的にハードロックチェック機能があり, 営業秘密機能の中心的な役割を果たしている。

(8) エンドユーザー情報ファイル(ソフトロック)

営業秘密部の作動条件を示すファイルであり, 営業秘密部を保護するロック機能を果たす。サーバー機に設定されなければシステムは作動しない。

以上